

## 特許取得のお知らせ

### ～「利用サービスのパスワード自動生成・登録」等を実現する新技術～

セキュリティソフト開発・販売のパスロジ株式会社(東証 TOKYO PRO Market 上場:証券コード 4426、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小川秀治。以下、パスロジ)は、個人用認証管理アプリ「PassClip」および「PassLogic」用のソフトウェアトークン「PassClip L」に係わる発明について、下記3件の特許を取得いたしましたのでお知らせいたします。

(1)

【発明の名称】 認証システム、ならびに、情報記録媒体 (分割出願 1)

【国】 日本

【特許番号】 JP 6835312

【登録日】 2021年2月8日

【特許権者】 パスロジ株式会社

【内容】

当特許は、PassClip と、PassClip と Web サービス等をつなぐシステム「PassClip Auth」に利用されています。

その内容は、利用者が登録したい Web サービスを PassClip アプリ上で選ぶと、Web サービス側では、利用者のユーザ名等と Web サービス側が持つ認証情報 (サイトシード) から、その利用者用の認証情報 (ユーザシード) を生成し、PassClip アプリに送信、PassClip アプリ側でこのユーザシードからパスワードを生成する、という技術です。

この技術を導入した場合、利用者が PassClip アプリ上で利用したい Web サービスを選ぶだけで、その Web サービス用のパスワードが自動的に生成されます。そして利用時には PassClip アプリでパスワードを見て Web サービスに入力し、ログインします。

生成されるパスワードの内容は、利用する Web サービスごとに異なる、ランダムで複雑な、安全性が担保されたものになりますが、利用者はそれらの複雑なパスワードを考える必要も覚える必要もありません。PassClip アプリ上で表示されるビンゴ状のマス目の位置と順番 (パターン) をひとつだけ覚え

ておけば、パスワードが必要な時にだけ、パターンに沿ってマス目から文字を抜き出して、パスワードを判読し、ログインすることができます。

さらに Web サービス側では、認証情報としてサイトシードのみを保管しておけば十分で、利用者ごとに別々の認証情報を管理する必要がありません。

この安全で簡単な利用者登録および認証の方法を Web サービス等に導入するためのシステムが「PassClip Auth」です。下記のページにて紹介しております。ご興味のある Web サービス等の運営者の方は、お気軽にパソロジまでお問合せください。

●PassClip Auth 紹介ページ : [https://www.passclip.com/ja/pca/passclip\\_auth/](https://www.passclip.com/ja/pca/passclip_auth/)

●パソロジお問合せフォーム : <https://www.passlogy.com/form/consultation>

(2)

【発明の名称】 ユーザ認証方法及びこれを実現するためのシステム並びにこれに用いられる情報通信端末

【国】 米国

【特許番号】 US 10798090

【登録日】 2020 年 10 月 6 日

【特許権者】 パソロジ株式会社

【内容】

当特許は、PassClip と PassClip L に利用されています。

その内容は、認証サーバーと各アプリが、両方が持つ同一のシードとアプリを設定した時刻からの経過時間によってパスワードを生成し、そのパスワードをアプリで表示されるビンゴ状のマス目に、パターン上のマス目には正しいパスワードの文字列を、パターン以外のマス目にはダミーとなる文字列を表示する、という技術です。

この技術により、時間と共に変化するワンタイムパスワード (TOTP) をビンゴ状のマス目に隠して表示することが可能となり、登録されたアプリがインストールされた端末を持っていること (所有要素)」と「パターンを知っていること (知識要素)」による二要素認証を成立させることができます。

この技術によって生成されたパスワードの入力先は、各アプリをインストールしている端末に限定しておらず、別の端末で入力することも可能としています。

当特許は日本においても特許番号「JP 5608838」として取得済です。

当技術を用いている PassLogic 用ソフトウェアトークンアプリ「PassClip L」につきましては下記の紹介ページをご参照ください。

●PassLogic 製品サイト「ソフトウェアトークン・ハードウェアトークン」ページ :

<https://passlogic.jp/token/>

(3)

【発明の名称】 通信装置、リマインダ装置、ならびに、情報記録媒体

【国】 インド

【特許番号】 IN 348001

【登録日】 2020年9月28日

【特許権者】 パスロジ株式会社

【内容】

当特許は、PassClip および PassClip L に関連する内容です。

その内容は、利用者がビンゴ状のマス目を正しい順番（パターン）でタップすることで、「アプリ内に隠された表」から文字列を抜き出し、パスワードとして送信したり、クリップボード上等に出力したりする技術です。

この技術を用いていた場合、スマートフォンが盗まれて解析されるなど、何らかの理由で「アプリ内に隠された表」が流出したとしても、利用者本人のみが知っているパターンが知られない限り、パスワードが流出することを防ぐことができます。

当特許は日本においても特許番号「JP 4920804」として取得済みです。

以上になります。

今後とも、パスロジ株式会社をよろしくお願いいたします。

## ■パスロジ株式会社について

パスロジ株式会社は2000年の設立より、IT社会において日常的に行われる「ログイン」、「サインイン」といった作業「本人認証」について研究開発を行っているベンチャー企業です。日本において33件、世界各国では合計101件の特許を取得しております。(2021年2月末時点)

主力製品の「PassLogic (パスロジック)」は、主にリモートワークに利用される認証セキュリティシステムです。その「専用のデバイスを使わないワンタイムパスワード」という独特な機能は、安全性と可用性に優れ、導入・運用コストを抑える特徴を持ち、政府機関や、規模を問わず多くの企業に採用されています。新型コロナウイルス感染症対策によるテレワーク導入拡大にも迅速に対応し、2020年9月にはユーザ数129万件を突破いたしました。

●パスロジ会社案内ページ : <https://www.passlogy.com/corporate/>

【パスロジ株式会社 概要】

社名 : パスロジ株式会社 (Passlogy Co., Ltd.)  
代表取締役社長 : 小川 秀治  
設立 : 2000年2月24日  
資本金 : 1億円  
上場区分 : 東京証券取引所 TOKYO PRO Market (証券コード 4426)  
所在地 : 東京都千代田区神田小川町 3-26-8 神田小川町三丁目ビル  
業務内容 : セキュリティソフトウェア開発販売  
認証 : ISMS/ISO27001  
Web サイト : <https://www.passlogy.com/>  
主要製品 : PassLogic、PassClip、X3Secure for RDP

**【報道関係者からのお問合せ先】**

パスロジ株式会社 担当 : 黛 慎一

TEL : 03-5283-2263 E-Mail : [passlogic@passlogy.com](mailto:passlogic@passlogy.com)

※このリリースに記載の内容は、発表当時の情報です。予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。